

## INDEX

### 1 学生の声を聴く

FD推進センター発足から10年が経ち、FD推進センターでは、「学生の声を聴く」ことをいまいちど始めています。

今回は、学生モニターの力を借りて、授業改善アンケートについて聴いてみました。その内容をご紹介します。

### 2 授業改善アンケートを実施しています

2015年度秋学期期末授業改善アンケートを実施しています。是非、学生へ回答の周知をしていただき、授業改善ツールとしてお役立てください。

### 3 第8回FD学生の声コンクール授賞式を開催しました

2015年12月25日に第8回FD学生の声コンクール授賞式を開催しました。その様子をご報告します。

## 1 学生の声を聴く

FD推進センターでは、その方法のひとつとして、授業改善アンケートやFD学生の声コンクールを実施し、学生の声を聴く機会を設けています。

教員の直接的な授業改善の役にたつだけでなく、大勢の人の前で意見を述べるのが苦手な学生にとっても、このような機会があることは、伝達・表現の機会になっています。



FD推進センター発足から10年。その実質的な効果や内容も刻々と変化してきており、あらためてその実質的な方法や意味を見直してみる時期が来ています。過去の活動実績や検討してきた内容を引き継ぎつつも、もう一度原点に戻って考え、現状を知り、新しい方向性についても検討が必要だと考えています。FD推進センターでは、その準備として、まずは**現状把握**から取り掛かっています。

たとえば、2015年11月～12月にかけて、学生モニター制度を利用し、3キャンパスで一般学生に対して**授業改善アンケート**について、話を聞きました。今回は、その内容の一部をご紹介します。

#### ＜実施日・参加モニター数＞

- ・市ヶ谷 2015年11月19日(木)4時限目 学生モニター6名
- ・多摩 2015年12月3日(木)4時限目 学生モニター7名
- ・小金井 2015年11月18日(水)5時限目 学生モニター4名

テーマ：授業改善アンケートについて率直に思うところを聞かせてください。

・マークシートの時は、とりえず授業内に書かなくてはいけないので記入していたが、Webになって、特にコメントを伝えたい授業にだけ(授業に不満がある場合、もしくは先生に御礼の言葉を伝えたい場合)回答をするようになった。

・Webになったからといって、記入する内容自体は、あまり変わらないが、文字数をたくさん書きたい場合は、休憩時間にもスマートフォンを使って手軽に書けるので、よかった。

・質問数が多いので、Webだと用紙に比べて、受講授業のひとつひとつに回答するのが大変である。

・コメントに対するフィードバックがないので、先生に伝わったか、よく分からない。

・すぐに伝えたい内容は、直接先生に授業中に伝えているので、アンケートという方法で伝える必要がない。

・大教室の授業では、先生との距離が遠いため、お話する機会もない。アンケートに記入するくらいしか伝える機会がないので、あったほうがよい。

・期末アンケートで実施するよりも、期中アンケートやミニツツペーパーの方が、授業内でフィードバックしてもらえるのでよい。

・学生が意見を伝えるだけでなく、先生の見解やその指導方針について考えがあるはずなので、一方通行ではなく、双方向のツールとしては必要だと思う。

・先生も授業を色々ブラッシュアップしていると思うので、自分たち(学生)がレベルアップして先生に合わせるべき。特段改善してほしいと思わない。

発行：  
法政大学  
教育開発支援機構  
FD推進センター

ホームページ  
<http://www.hoseikyoku.jp/fd/>

問い合わせ先  
[fd-jimu@hosei.ac.jp](mailto:fd-jimu@hosei.ac.jp)

上記意見は、モニターに参加した一部の学生の意見です。全体数から見るとほんの少数の学生の声ではありますが、このようなところからも地道に今後に向けての糧にしていきたいと考えています。

その他、FD推進センターでは、2016年度にむけて、**学生を活用した授業方法の見直しの機会**として、「**学生による授業コンサルティング(Student Consulting on Teaching)制度**」の導入も検討中です。詳細が決まりましたら、またご案内をいたします。

2016年も、FD推進センターは進んでまいります！ どうぞよろしくお願ひいたします。

## 2 授業改善アンケートを実施しています

2015年度秋学期授業改善アンケートを実施しています。2014年度秋学期より、Web方式に変更となり、ちょうど丸1年目経ちました。授業改善アンケートから、授業についての短期的な改善点が見えてくることもあれば、継続的にアンケートを実施することで、長期的に見えてくることもあると思います。その気づきへの第一歩として、まずは、受講学生の回答からスタートします。是非、受講学生にアンケートへの回答を呼びかけていただき、学生の声を聴くツールとして、授業改善にお役立てください。

教員も学生も、FD推進センターホームページからログイン画面へ進めます。

法政大学 FD推進センター



検索



FD推進センターホームページURL

<http://www.hoseikyoiku.jp/fd/>



学生回答期間  
2015/12/17(木)  
～2016/2/16(火)

## 3 第8回FD学生の声コンクール授賞式を開催しました

前号で、第8回FD学生の声コンクールの受賞者をご紹介しましたが、2015年12月25日(金)に市ヶ谷キャンパスポサナード・タワー25階A会議室にて、第8回FD学生の声コンクール授賞式を開催しました。

最優秀賞を受賞した文学部3年判治有香里さんには、田中優子総長より賞状の授与が行われました。判治さんは、昨年度の同コンクールでも最優秀賞を受賞し、2年連続で素晴らしい結果を収められました。本授賞式は、第11回デジタルコンテンツ・コンテスト授賞式と2015年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」表彰式と合同で開催され、分野の違う内容での表彰者同士の交流の場にもなり、華やかなものとなりました。



授賞式後には、FD学生の声コンクール受賞者による、座談会を実施しました。今年の座談会は、【学生の声コンクール】をテーマに、グループワーク形式で、教職員の視点だけではなく、学生の視点でも学生の声コンクールのテーマや実施方法を検討し、より「学生の声」を共有できる方法を一緒に考えました。

はじめに、学生の考えを出し合い、グループごとにまとめてもらい、それを発表しながら教職員と意見交換をする、という方法ですすめましたが、教職員では、思いつかなかったような内容が学生から飛び出し、まさに**学生の声**を聴く、貴重な機会になりました。学生も、教室とは少し違った教員の様子を見ることができ、また直接意見交換もでき、得るものがあったようです。

次回のFD学生の声コンクールは、この座談会の内容を踏まえて、テーマや実施方法を決定したいと考えております。座談会の詳細は、2016年3月発行の「FD学生の声コンクール新聞」にて、ご報告しますので、是非そちらもご覧ください。

